

令和元年度新居浜市行政評価外部評価委員会議事録

- 1 開催日時 令和元年8月8日(木) 13:00～16:40
- 2 開催場所 市役所3階 33会議室
- 3 出席者 委員5名
兼平委員長、倉澤副委員長、藤田委員、白井委員、後藤田委員
事務局3名
総合政策課 河端、近藤、篠崎
- 4 傍聴者 0名
- 5 会議内容 (1) 開会
(2) 企画部長挨拶
(3) 会議の公開の確認
(4) 今年度の外部評価の進め方について
(5) 外部評価実施
(施策評価内容説明10分、質疑応答15分)
(6) その他
(7) 閉会

6 議事録

次第1	<開会> 事務局より開会のあいさつ
次第2	<企画部長挨拶>
次第3	<会議の公開の確認> 外部評価委員会は公開することに決定
次第4	<外部評価の進め方について>事務局説明
次第5	<外部評価の実施> フィールド環境調和・施策「ごみ減量の推進」<環境部長説明>

委員長	質疑応答に移ります。何かご質問等がございますか。
委員	<p>成果指標の「ごみ排出量」について、ほぼ横ばいで、極端に増えているわけでもないのに、進捗状況をD「非常に遅れている」と考えている理由を伺いたい。</p> <p>また、リサイクル率が下がってきている要因について、考えられるものは何か教えていただきたい。</p>
ごみ減量課長	<p>ごみの排出量については、令和2年度までの目標値を達成する見込みが非常に難しいため、Dと評価しています。</p> <p>リサイクル率については、要因を検証中ですが、考えられる要因として、ペーパーレス化が進み、リサイクルできる古紙等の排出量そのものが減っていることが原因ではないかと思えます。</p> <p>瓶や缶については、ペットボトル化が進んでリサイクルできる総量が減り、一方で、ペットボトルのごみ量は増えてきている状況となっているのではと考えています。</p>
委員	<p>活動指標の「生ごみ処理容器等普及基数」は進捗状況がA「順調に進んでいる」となっており、平成29年と平成30年の普及基数もほぼ同じであるが、事務事業の「生ごみ処理容器等設置補助金」の決算額が平成29年度から平成30年度になって半減しているのはなぜか。</p>
ごみ減量課長	<p>事業の補助対象である水切り容器等の購入に対する補助件数は、減っているものの段ボールコンポストについては、普及が図られているため全体の基数はほぼ同じとなっています。</p>
委員	<p>基本計画「地域環境美化活動の推進」の取り組み方針にあるごみステーションの管理について「ルール違反のごみ出しに対する指導體制の整備」とは具体的にどのような取組みを行っているのか。</p>
ごみ減量課長	<p>環境美化啓発事業の中で、看板等を作成しております。</p>
委員	<p>基本計画には、ごみステーションの適正管理が取組方針とされているが、基本計画内の評価では、何も触れられていない。</p> <p>自治会などでも、ごみステーションの管理についてはいろいろ問題が</p>

	<p>あると聞く。せつかく基本計画に掲げているのであれば、現状を把握し、どのような課題があり、それに対して市はどう取り組むのかを具体的に記載いただきたい。</p>
ごみ減量課長	<p>分かりました。</p>
委員	<p>施策の事業費が大きく変動している理由は。</p>
ごみ減量課長	<p>平成27年度から平成29年度まで、清掃センターの大規模改修を実施し、その間多くの費用がかかったためです。</p>
委員	<p>新居浜市のごみの排出量は確かに多いと思う。リサイクル率の伸び悩みのところで、リサイクルできるごみそのものの排出量が減ったと分析していたが、ごみ全体の排出量は減っていない。その原因も検証していないと、ごみの減量を推進できないと思う。</p>
環境部長	<p>本施策の成果指標「ごみ排出量」については、清掃センターに持ち込まれる事業系ごみと生活系ごみも含んだ総量となっており、施策内容を少し検証しにくい指標となっています。</p>
委員長	<p>ごみステーションの管理は、地域のつながりが疎遠になってきている中で、難しい問題であると思う。また、ごみの減量についても難しい問題であるが、地球規模の目標でもあると思う。今回の総合評価では、いい評価ではないが、今後ごみの減量に向けて頑張って取り組んでいただきたい。</p>
	<p>フィールド快適交流・施策「安心な住宅の整備」 <建設部長説明></p>
委員長	<p>質疑応答に移ります。何かご質問等はございますか。</p>
委員	<p>型別供給の整備割合はどのように決めているのか。</p>
建設部長	<p>建て替え前の住宅に住んでいる高齢単身者分については型別供給を確保し、それ以外については、今までの実績等から割合を想定した計画を策定し、国の承認を得て整備しています。</p>

委員	入居の応募状況はどのようになっているか。単身者とそれ以外の割合に違いはあるのか。
建築住宅課長	単身世帯の応募の方が多くなってきています。
建築住宅課副課長	直近の6月の募集時においては、世帯向けの2DKや3DKの募集については応募者が応募戸数以下、単身者向けにつきましては、2戸の募集に対して7から8件の応募がありました。
委員	では、これからはより単身者向けの需要が多くなるという認識でよいか。
建設部長	そうです。建て替え時以外の既存の住宅についても、条例を改正し、単身でも入居できるように条件を変更し、200数戸確保しました。
委員	基本計画で取り組んでいるのであれば、それを測る、需要に対応できていることを表すものなどの指標を設定すべきと考える。 次に、耐震シェルター整備等補助金について、平成30年度の決算が0となっているのはなぜか。
建築指導課長	補助の申込みが無かったためです。
委員	成果指標のサービス付き高齢者住宅の登録件数について、目標に対してどういった取り組みを実施しているのか。
建設部長	この制度自体が大きく変わってきた経緯はありますが、事業者に対して、サービス付き高齢者住宅に登録されることのメリットを周知しています。
委員	では、成果の指標を増やすために、市独自で補助を行ったりするのではなく、制度のメリットを周知するだけがこの基本計画の取組みなのか。
建設部長	そうです。
委員	空き家対策について、危険家屋撤去補助事業では、補助件数が毎年大体5、6件となっているが、新居浜市で対象となるような問題を抱える

	<p>空き家の数はどの程度か。この補助件数の実績は、新居浜市の空き家の状況に見合っているものなのか。</p>
建築指導課長	<p>相談は結構あるのですが、補助の条件に合致するものはそれほどありません。今年度は、申請予定件数を5件増やした10件としており、すでに10件の申請がありました。</p>
委員	<p>空き家問題に関しては、地域も巻き込んだ取組みが必要と思う。</p>
建築指導課長	<p>地域から通報があれば、まず現地調査を行って、必要に応じて対応しております。今後も、各団体等と連携を図っていきたいと思います。</p>
委員長	<p>高齢単身者の増加や空き家の増加等、人口減少が進む中、重要な施策であるため、今後も施策目標に向けて取り組んでいただきたい。</p>
	<p>フィールド経済活力・施策「工業の振興」 <経済部長説明></p>
委員長	<p>質疑応答に移ります。何かご質問等はございますか。</p>
委員	<p>活動指標の「新規事業展開支援企業数」とはどのような内容なのか。</p>
産業振興課長	<p>「中小企業新規事業展開支援事業」にて、新規事業を展開したいと考えている企業に対し、えひめ東予産業創造センターのコーディネーターが支援した件数です。</p>
委員	<p>「中小企業設備近代化資金預託金」のように、基本計画の中で予算が大きい事業に関する指標を施策の指標にしても良いのではと思うので検討してほしい。この事業をもっと活用してもらい、中小企業の活動を活性化させていただきたいが、予算執行が当初予算の半分程度となっているのが残念である。</p>
委員	<p>執行額が当初予算の半分ということは市が見込んでいたよりも企業の設備投資が無かったということか。この事業はいつから始まったのか。</p>
産業振興課長	<p>設備投資自体は旺盛なのですが、金融機関の商品等を選ばれることも多く、現状はこのようなになっています。本事業は昭和37年から始まっ</p>

	<p>ています。</p>
委員	<p>全体の事業について補助事業が多く、国や県の制度と重複していたり、先ほどの預託金事業のように、民間のサービスと重複していたりと、なかなか使われていない事業も多くあるので、一度、全体を見直す必要があると思う。</p> <p>本施策では、人材確保も重点となっているが、そこへの取組みが少し弱いと感じた。お金を与える補助以外の取組に関係するものも成果指標に取り入れても良いのではないか。</p>
委員	<p>人材確保は重要な課題であるにもかかわらず、「UIJ ターン人材確保支援事業」については予算が少ないと感じる。預託金事業のようにあまり使われていないのに予算が大きい事業等を見直して、予算を振り分けることも考えてみてはどうか。</p>
経済部長	<p>確かに人材確保は重要な課題と認識していますが、効果的な対策が見出せていないのが現状ですが、今後も県の事業内においてや、先進事例を研究しながら、本市が何をすべきか検討していきたいと思います。</p> <p>本市の今の取組みとしては、ものづくり企業が多いため、「製造業イメージアップ事業」にて、製造業のイメージアップを図り、人材確保につなげようという取組みを行っています。</p>
委員	<p>ものづくりの人材不足も問題であるが、製造したものを流通させていくための経理や会計に関する人材も不足しているので、製造業に関する人材については、全体を考えて取り組んでほしい。</p>
委員長	<p>産業振興も重要な分野であるが、行政がどのように振興していくかについては、補助事業が多くなると思うが、国や県と連携して、市の独自の新しい取組みも実施しながら施策目標に向けて取り組んでいただきたい。</p>
	<p>フィールド計画の推進・施策「開かれた市政の推進」<企画部長説明></p>
委員長	<p>質疑応答に移ります。何かご質問等はございますか。</p>
委員	<p>成果指標の「市民満足度」について、この表記では市民全体の50%</p>

	<p>が満足することを目標にしていると捉えられるが、実際は市民アンケートを答えた人の割合から統計上の推定で得られたものなので「アンケート結果」等と標記したほうが市民に分かりやすいのではないか。</p>
委員	<p>ホームページや SNS 等を実際に利用した人に対してのアンケートを実施する方法も考えてみてはいいのではと思った。</p> <p>あと、審議会等の公募やパブリックコメントについて、制度は実施しているものの、市民の反応がないなど、苦慮している自治体もあると聞いているが、新居浜市ではどのような状況なのか。</p>
秘書広報課長	<p>公募委員が参加可能な審議会に公募委員が実際入っているかについては、取りまとめができておらず、今すぐお答えすることができません。</p> <p>パブリックコメントについては、平成30年度では6件の案件を実施し、31件の意見が提出されました。</p>
委員	<p>「対話型広聴の推進」では、住民参加型の集会で地域課題の解決に取り組むとしているが、その集会で概ね課題は解決されているのか。</p>
秘書広報課長	<p>即対応可能で、その場でお答えできるものについてはその場でお答えしていますが、持ち帰って後日回答させていただくこともあります。また、市の管轄ではないものについては、各機関につなぐ場合もあります。</p>
委員	<p>地域からの意見や課題の数等も指標に設定して、取組に力を入れてもらいたいと思う。</p>
委員	<p>パブリックコメントについて、出た意見で計画が修正されるようなレベルの意見は出ているのか。</p>
企画部長	<p>件数は少ないですが、そのような意見も頂いております。</p>
委員	<p>意見がどのようにフィードバックされたかを広く周知すれば、意見をしようと思う人も増えるかもしれないと思う。</p>
委員長	<p>国と違って、市は市民に身近なので、市政に市民の声が生かされるように今後も取り組んでください。</p>

	フィールド健康福祉・施策「児童福祉の充実」＜福祉部長説明＞
委員長	質疑応答に移ります。何かご質問等がございますか。
委員	休日保育の利用者数はこの程度しかないのか。
福祉部長	休日に、父親も母親も保育をできない場合に該当する人がそれほどいないのだと思います。
委員	最近、子どもの虐待がテレビでも取り上げられているが「児童虐待防止対策緊急強化事業」の予算がとても少なくなっているのはなぜか。
子育て支援課長	本事業の予算は、講演会開催にかかる講師への謝金や旅費が多くを占めており、平成30年度は市内の方に講演いただいた関係で決算額が少なくなっています。虐待防止については、本事業のみならず、もう少し大きい視点から見た、取り組み方法についての検討が必要であり、評価としては「事業の統合・休廃止を検討」としました。
委員	放課後児童クラブを利用できる対象は何年生までなのか。また、希望者は全員利用できているのか。
学校教育課長	平成30年度までは3年生まで、長期休暇中については4年生までが対象でしたが、今年度より6年生までと対象を拡充しています。なお、希望者はすべて利用できています。
委員	施策評価の活動指標「要保護児童対策地域協議会開催数」について、目標値は年12回の開催となっているが、実績は毎年4回となっている。実際には、この会は年4回の開催で間に合っているということか。
子育て支援課長	この会ではなく、必要に応じて細かくケース会を数多く開いており、今後はそういった会の回数も含めた指標設定の必要性等を検討していきたいと思います。
委員長	共働きも多くなっている中、児童福祉の充実については、市が必須で取り組まなければならないものであると思う。新居浜市においては、児童福祉は充実していると感じますので、今後も維持できるよう取り組ん

	<p>てください。</p> <p>フィールド教育文化・施策「学校教育の充実」</p> <p><教育員会事務局長説明></p>
委員長	<p>質疑応答に移ります。何かご質問等はございますか。</p>
委員	<p>放課後学び塾と放課後児童クラブの違いについて教えていただきたい。</p>
学校教育課長	<p>放課後児童クラブについては、親の就労等で子どもを見られない場合に、学校等で家庭と同じ環境を作っているもので、放課後学び塾については、親の就労に関わらず4年生から6年生を対象に、宿題をさせたり学習機会を与えたりして、放課後に児童の学習支援を行うものです。それぞれ実施している場所は別となっています。</p>
委員	<p>成果指標の「学校へ行こうデイ参加者数」について具体的にはどういったことをしているのか。参加者数が6万人を超えていて多いと思われるが、学校に子供が通っていない人も参加しているのか。</p>
学校教育課長	<p>参観日であったり講演会であったりと、学校がそれぞれ実施しているイベントに地域の方が参加するといったものです。</p>
教育委員会 事務局長	<p>本市では、地域の方が学校運営に携わる「コミュニティスクール制度」を導入しておりますので、学校に子どもが通っていない方も参加いただいております。</p>
委員	<p>小中学校のコンピューター整備について、今後、学校でプログラミング授業が実施されるが、台数は足りているのか。</p>
学校教育課長	<p>現在、一クラス分足りるか足りないかくらいの台数ですが、2020年からのプログラミング授業の実施等もありますことから、今後はタブレットの導入も検討が必要になるかもしれませんので、ICT機器の整備については積極的に進めていきたいと思っております。</p>
委員	<p>コンピューターの整備について、今後はソフトの更新や機器の維持管</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>理については一元管理になっていくとは思いますが、専門性が高くなっていくと現在の人員では対応できないため、ICT 機器の整備については、そういったことも含めて検討していただきたい。</p> <p>ICT 教育の推進は、機器の整備と同時に、支援員等の配置についても検討していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>教育の環境は大きく変化してきている。今は、コンピューターについては、現場で詳しい先生が管理していると思うが、今後専門性が高くなると、人員についても考慮する必要があると思う。</p> <p>「学校へ行こうデイ」のような取り組みは新鮮で、単身高齢者等も増えている中、様々な人が関わりを持てる取り組みだと思うので、今後も施策目標に向けて取り組んでください。</p>
<p>フィールド自立協働・施策「人権の尊重」 <市民部長説明></p>	
<p>委員長</p>	<p>質疑応答に移ります。何かご質問等はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>指標の分析について、人権活動事業の参加者数の目標達成が困難であると判断している理由について教えていただきたい。</p>
<p>人権擁護課長</p>	<p>人権啓発事業については、平成27年度から、それまで年3回実施していた事業を、内容を見直して2回にしたことと、県からの再委託事業でもあり、市で自由に実施できない制約から、来場者も伸び悩んできているため、目標達成は難しいと判断しました。</p>
<p>委員</p>	<p>そういった事情があるならば、活動指標の目標値を変えなければ、活動指標の意味がないのではないかと思うので、今後検討いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>同和問題に対してはそれで取り組んでいただければと思うが、近年ではLGBT や国籍に関するもの等、様々なマイノリティがあるが、それに対しては何か取り組んでいるのか。</p>
<p>人権擁護課長</p>	<p>市の啓発事業等でも取り上げており、様々な人権問題に対する教育・啓発に取り組んでおります。</p>

委員	事務事業の中で取り組んでいく予定はあるのか。
人権擁護課長	人権教育・啓発推進事業の中で、人権のつどい日等の様々な事業を実施しており、その中でLGBTについても講師を招いて講演を実施しております。
委員長	人権問題に対しての取組みは難しいと思うが、同和問題以外の人権問題についても積極的に取り組んでいただきたいと思います。 これで、今年度の外部評価対象の事案はすべて終了となりました。 委員の皆様、長い時間お疲れさまでした。
次第 6	<その他> 事務局より今後の流れについて説明。
次第 7	<閉会>
	以上